2022年度 一般入試〈前期〉 2022年2月2日実施分

問題と解答

国語

絵画、 失した状態になる。したがって、モニターに表示される写真――フィルムや印画紙からスキャナによってデータ化したものであ データに転換したものに大別される。つまり、ほかのメディアによって作り出した画像をデータ化してモニターに画像として表 オカメラやデジタルカメラ)によって記録したもの、ほかのメディアを用いて作り出した後にスキャナなどの装置によって画像 して位置づけられている。そのような関係項のなかでは、写真画像はシャッターによって切り取られた一瞬の像というよりも、 れ、デジタルカメラを用いて撮影したものであれ――は、映画やアニメーションのような「動画」と対照化されて「静止画」と 示する段階で、それぞれのメディアに用いられている像の支持体(紙、写真のフィルムや印画紙、油絵のカンヴァスなど)は消 コンピュータ・グラフィックスのようにコンピュータのアプリケーションを用いて作り出したもの、デジタルの映像機材(ビデ な意味で使われていて、パソコンのモニターや携帯電話の画面に表示される像のことをさす場合が多い。このような「画像」は、^^^^^ インターネットの普及に伴って日常的に使われるようになった言葉の一つに、「画像」という言葉がある。本来「画像」とは、 (動画)のなかからチュウしゅつされた一コマに近いものとして捉えられることもある。 写真、 映画、アニメーションなどさまざまなメディアによって作り出される像の全般をさすものだが、現在はより限定的、(A)^^^^^^

作品のアーカイヴとして構成されているものもあれば、個人のウェブサイトやブログ、掲示板などでより個人的な意図や目的に^^^^ や広告のようにマスメディアの媒体として制作されているものや、図書館や研究機関の資料、ギャラリーや美術館に所蔵される インターネット上には、さまざまな目的・用途のために作られた写真画像が無数に存在している。たとえば、ニュースの報道®^^^^^^^

りする写真であっても、さらには個人が所有するアルバムやスクラップ・ブックに収められる写真であっても、同じような方法 よって作られ、公開されているものもある。このような写真画像の遍在は、写真を見る方法を大きく変容させてきている。イン^^^^^ 印刷媒体やプリントとしてそれぞれ別々のかたちをとるものとして見られていた写真が、 で容易に閲覧(ブラウズ)できるようになっている。インターネットが普及する以前には雑誌や新聞、写真集、 ターネット上では、雑誌や新聞に掲載される写真であっても、美術館やギャラリーのなかで展示されたり写真集にまとめられた **(X**) ポスターなどの とも

という方向や順番を指示するナビゲーションによってスライドショーが進行したり、画面が自動的に切り替わる、などの方法が 真画像が並び、ブラウザをスクロールしながらシークエンスを把握して、順番をたどりながら見るという方法や、「進む」「戻る」 じみ深いものとなっている。サムネールを用いる表示方法のほかにも、ブラウザのなかで上から下に(ときには左から右に)写 るという表示方法は、ニュースサイトやオンライン・ショッピングのサイトなどさまざまなウェブサイトで用いられていて、な 言える。たとえば、ブラウザのなかに表示されたサムネールをクリックすると、より大きな画像が別のページのなかに表示され

ある。

及がもたらした利点として捉えてみると、ウェブサイト上で写真作品を公開することが、写真家が制作活動を続けていくなかで 写真展や写真集のような従来からある作品の発表形態では考えられないほど多くの人々に写真を見せることが可能になった。 ウェブサイトを作って、運営することが定着することによって、写真家が作品を公開する機会は格段に増えたと言えるだろう。 動を続けている人全般をさす――のなかには、ウェブサイトを自分の作品を公開する手段の一つとして位置づけている人も多い。 ブサイト上でひんパンに公開する人は増加の一途をたどっているし、写真家――ここでは、写真を表現手段として捉えて制作活 ブサイトを介して写真を見る人と相互にコミュニケーションを図ることもできる。このような活用の仕方をインターネットの普 ① 、ウェブサイトのコウしんを続けることによって、自らの活動のキせきを紹介したり宣伝したりすることもできるし、ウェ インターネット上で写真を見ることが定着していくなかで、自分が撮影した写真をブログやフォトログのようなかたちでウェ

については疑問を挟む余地はないが、ウェブサイトという媒体には、写真家にとっては避けて通ることのできない課題とも言え 程度の差や方法の違いこそあれ、今後ますます重要な位置を占めていくようになることは想像に難くない。 その簡便さや(ii)

るような数々の制約があることも見過ごしてはならないだろう。

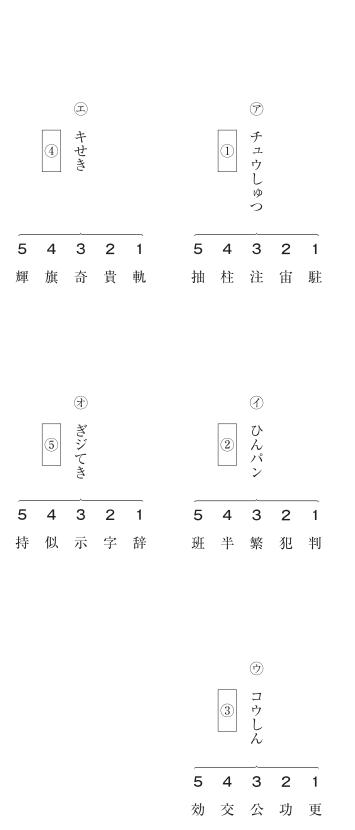
真によって何がどのように撮られているのかということだけではなく、その写真がどのようなかたちで存在しているのかという 像を作成したとしても、見る側のモニターの条件・環境によって画像の見え方は違ってくる 【 I その制約とは、写真がモニター上で「画像」として見られることにかかわるものである。画像の見え方は、モニターの条件-©^^^^^^ ウェブサイトにおける写真「画像」と写真「作品」をめぐるこのような状況を鑑みると、「もの」としての写真のあり方――写 のとき、 印刷物のほうに作品としての や写真集の内容を紹介したり宣伝したりするための手段として制作されているウェブサイトも多く、プリントや写真集のような 表形態として優位なものとして位置づけられる、ということを意味しているのではない 【 🛯 🛣 】。そうではあっても、 ニター上で再現することは不可能である 【 Ⅲ 】。このことが直ちに、ウェブサイトよりも展覧会や写真集のほうが作品の発 うことをある程度まで伝えるという目的にはかなうものかもしれない 【 Ⅱ モニターで表示される色・明るさ・解像度・サイズなど――によって左右される。したがって、作り手が入念な調整を施して画 点一点の写真の見え方をコントロールすることには限界がある。また、プリントや印刷物で再現される写真の画質の精度をモ **−が、問題として浮かび上がってくる。つまり、「画像」として写真を見ることや見せることが急速に普及していくなかで** ウェブサイト上の写真画像はプリントや写真集のぎジてきな代理物として副次的なもの、 何がどのように写っているのかということや、どのような意図やテーマのもとに写真がまとめられているのかとい (ひいては商品としての)価値が与えられていて重要視されていることは否めない【 」。しかし作り手である写真家が、モニター上で **】**。モニターに表示される **y** V - 3 -

という形式でこそ可能な表現を追求する行為として、新たな意義を持つようになってきたと言えるのではないだろうか。

制作活動のよりどころとなるだけではなく、プリントや印刷物

写真家がプリントや印刷物のような「もの」を作り出すことは、

問 1



問 2 二重傍線部®・®はそれぞれ本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを、次の各群の1~5のうち から、それぞれ一つずつ選びなさい。

そのままにしておくと

(a) 遍在 6 5 3 2 4 1 昔から存在している 広く行き渡っている 固まって存在している 特定の場所にある ところどころにある **b** 鑑みると 7 3 5 2 4 1

空欄① 空欄①・⑪に入れるのに最も適当なものを、次の各群の1~5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。 8 3 2 4 1 むしろ つまり また しかし 空欄前 9 4 3 2 1 芸術性 安定性 有効性 独自性 別にして考えてみると 比べ合わせて考えてみると いろいろと想像してみると よく調べてみると

問 3

5

なぜなら

5

危険性

場合が多い」とあるが、パソコンのモニターや携帯電話の画面などに表示される「画像」の特徴についての説明として最

も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びなさい。| 10

1 コンピュータが普及する以前の画像は特定の限られたメディアでしか作ることができなかったが、パソコンのモニ

ターなどに表示する「画像」は、さまざまなメディアを使って作ることができる。

現在の画像にはコンピュータやデジタル機器を使って作ったものと既存のメディアを使って作ったものがあり、それ

らをデータ化した「画像」の性質は、何を使って作ったかによってそれぞれ異なっている。

かつての画像は、画家や写真家など特殊な技術を持った人しか作ることができなかったが、パソコンのモニターなど

に表示する「画像」は、コンピュータを使うことができれば誰でも簡単に作ることができる。

「画像」のもとになるものはコンピュータだけでなくさまざまなメディアを使って作ることができるが、それらをデー

タ化してパソコンのモニターなどに表示した段階で、データという同じ性質を持ったものになってしまう。

本来の画像には絵画、 写真、 映画、アニメーションなどさまざまなものが含まれていたが、現在の「画像」はそうし

5

4

3

2

たものではなく、コンピュータによって作り出されたものだけをさすようになっている。

ような影響を与えたか。その説明として最も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びなさい。 | ①

- 1 場となっている。 増加の一途をたどり、現在のウェブサイトは、写真集や写真展に匹敵するほど多くの人を集める、作品発表の重要な インターネットが普及すると自分の作品をブログやフォトログのようなかたちでウェブサイト上で公開する写真家は
- 2 インターネットが普及する以前の写真家は主として写真集や雑誌、新聞などの印刷媒体で自分の作品を発表していた が、インターネットが普及すると作品を公開する場はウェブサイトに移行したものの、それ以外の部分では特に大き
- 3 インターネットが普及すると、写真家は新しい作品は従来と同様写真集や写真展で発表し、ウェブサイトでは従来か らある作品を発表したり自らの活動を宣伝したりするなどといったように、既存の媒体とインターネットを適宜使い 分けるようになっていった。

な変化は見られなかった。

4 かつては写真を掲載できる媒体は写真集や雑誌、 うになってしまった 人々も簡単に自分の作品を公開できるようになると、それらと写真家の作品が競合し、写真家の地位が脅かされるよ 新聞などに限られていたが、インターネットの普及によって一般の

5 インターネットの普及によって写真家は、自分の作品を公開する機会が大幅に増え、従来とは桁違いに多くの人々に できるようになった。 作品を見せることができるようになったうえに、新たな情報発信や写真を見る人との相互コミュニケーションなども

問 6 空欄⊗に入れるのに最も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びなさい。 ②

出版社や新聞社などを介することなく写真家が自由に写真を公開できるようになったのだ

2 「画像」に転換されることによって画一化された方法で見られるようになったのだ

3

インターネット上に公開されることで世界中の人々で共有することが可能となったのだ

パソコンを使って誰もが自由に画像を加工して使用することができるようになったのだ

5 どれが本当の「写真」でどれが「画像」なのか見分けがつかなくなってしまったのだ

- 約」とはどのようなことか。その説明として最も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びなさい。 □③
- 1 プリントや印刷物などとは違ってモニター上の「画像」は、その見え方が画像を見る側のモニターの条件や環境に左 右されるため、作品を写真家の意図したとおりに見せるのは難しいということ。
- 2 インターネット上の「画像」は簡単に作ることができると思われているため、写真家が入念な調整を施して画像を作
- 成しても、そうしたことを見る側の人々になかなか理解してもらえないということ。
- 3 パソコンのモニター上に表示される「画像」は印刷媒体に比べて質が低いため、写真家がどんなによい作品を公開し たとしても、その作品のテーマや写真家の意図が見る側にはなかなか伝わらないということ。
- 4 インターネット上で「画像」を公開するときには、モニターの条件を考えながら一点一点の作品の見え方をコント ロールしなければならないため、限られた数の作品しか公開することができないということ。

**-** 9 **-**

5 写真集や写真展などと違ってインターネット上に公開した「画像」は誰でも自由に見ることができるため、 する知識のない人たちからの的外れな批判などを受けることが避けられないということ。

1 すなわち元の作品とは全く無関係なものになってしまう

2 つまり写真「作品」と同程度の価値があると評価される

3 それゆえ写真よりもさらに価値あるものとして扱われる

4 したがって写真と見分けがつかないものとなってしまう

あるいは作品を補完するものとして見なされがちである

5

(ウェブサイトでしか用いることのできない写真のまとめ方やプレゼンテーションの仕方もある)

問 9

本文には次の一文が抜けている。その入る位置として最も適当なものを、後の1~5のうちから一つ選びなさい。 (15)

1 Ι

3 2 II ${\rm I\hspace{-.1em}I\hspace{-.1em}I}$ 

4 IV

5 V

-10-

インターネット上で「画像」を見ることや見せることが普及したことによって、プリントや印刷物などといった「も

の」を作り出すことの意義は失われてしまった。しかし、写真家はそうした現状をそのままにするのではなく、そう

- した「もの」を作り出す行為に新たな意義を持たせることが必要である。
- 2 インターネットの普及に伴って写真を「画像」として見ることや見せることが日常的なものとなった。そういう時代 現を追求する行為として意義のあることである。 であるからこそ、写真家がプリントや印刷物のような「もの」を作り出すということは、その形式でしかできない表
- 3 写真家がプリントや印刷物のような「もの」を作り出すことは、かつては特に意義のある行為だとされていなかった。
- 現在のように写真を「画像」として見ることや見せることが一般化すると、そうした「画像」とは異なるかたちの「も 11 の」が見直され、それらを作り出す行為が意義を持つようになった。
- 4 されていることから、それらを作り出す行為にはこれまでとは違った新たな意義がある。 誰もが簡単に公開することのできる「画像」の急速な普及によって、プリントや印刷物のような「もの」を作り出す ことの意義は失われたように思われている。ところが、実際にはプリントや印刷物は「画像」の代理物として重要視
- 5 写真というものはこれまで何がどのように撮られているのかといったことしか問題にされてこなかった。しかし、写 や印刷物や「画像」などといった「もの」を生み出すことが新しい意義を持つようになった。 真「画像」の普及によって写真がどのようなかたちで存在するのかという問題が生じるようになった結果、プリント

聖しょう も言われている。 しているのに、すべてを理解できたということになる。このできごとをもとに、その後皇子は豊聡耳とよばれるようになったと 徳太子は歴史上重要な人物である。最近では実在しなかったのではないかという仮説も出されているようだが、ここでは

彼がやってのけたとされているからだろう。 ことなどできないということなのだ。聖徳太子の逸話が逸話として語り継がれているのは、私たちにはトウていできないことを | | 実際には10人同時でなく、順番に話を聞いただけだという説もあるが、とりあえずここでは同時に聞いたとしておこう。とい

情報処理ができなくなるということになる。【 I 】 には、ことばを音として処理し一時的に保存する短期記憶や、それを意味ある情報に統合する中央実行系とよばれる作動記憶 かけられる労力が有限であるからだと考えると説明がつく。たとえば誰かが話しかけてきたのでそちらに注意を向けると、他の 人の話を集中して聞くための処理資源が十分に残っていないという状況になるわけだ。話しことばを聞いてその内容を理解する (ワーキングメモリ)の働きが不可欠だと考えられている。それらの認知システムの処理資源は有限であり、その容量を超えると: なぜ私たちは、聖徳太子のように一度に何人もの話を聞いて理解することができないのだろうか。それは、 人間の情報処理に

うな作業の進め方が得意な人とそうでない人がいて、得意な人はたいてい女性であるという話も聞く。この場合の処理資源はど

のように使われているのだろうか。聖徳太子の例は、相談者の話に対して最終的に解決策を与えるという状況での情報処理であ 一般的にこのような問題解決型の思考はより複雑で、その分より多くの処理資源を要すると考えられている。 **(X**)

うまくて、その結果いくつものことを短時間のうちに進めることができるのかもしれない。【 Ⅱ 注意を別のものに向ける切り替えができないのだ。電話をしながらレシピが読める人は、もしかすると注意の切り替えが非常に ということが起こるのだろう。一般的に、私たちは何かに集中してしまうと、周りで起こっていることに気づかないことがある。

ただし、電話をしながら新しいレシピで料理をすることができなくても、注意の切り替えがほとんど自動的に起こることもあ

る。

子に聞こえたのならば、私の耳にも息子の友達の声が届いていてもおかしくなかったが、私には聞こえていなかった。息子はな子に聞こえたのならば、私の耳にも息子の友達の声が届いていてもおかしくなかったが、私には聞こえていなかった。 まう前につかまえようと思って一目散に走ったと言う。
「①」その声が複数の友達のうち誰の声かも聞き分けていたらしい。息 て友達が外にいることに気づいたのか不思議だった。息子に聞いてみると、外にいる友達の声が聞こえたので、いなくなってし 音に何事かと驚いて、私も外に出てみると、近所の友達と遊んでいる息子の姿が見えた。どうやら息子は友達といっショに遊び たくて外に出ていったらしいことはわかったものの、家の中からは外で遊ぶ子どもたちの姿は見えなかったので、息子がどうやっ 家でひとりで遊んでいた3歳の息子が、とつジョひとりでゲンかんのドアを開けて外に飛び出していくことがあった。ドアの家でひとりで遊んでいた3歳の息子が、とつジョひとりでゲンかんのドアを開けて外に飛び出していくことがあった。ドアの - 13-

めることもできるが、知らないうちにあるものに注意が引きつけられることもあるということだ。【 Ⅲ 】 て処理が可能になるという。心理学では、これを「カクテルパーティー効果」とよんでいる。自分の注意の矛先は、 だけでなく、自分にとって重要な情報であれば、雑音があっても、誰かと会話している最中でも、その瞬間そちらに注意が向い 伝って会話がはずみ、わいわいがやがやしている中でも、自分の名前がよばれたらそれは耳にちゃんと入ってくる。 その手がかりになるのが「カクテルパーティー効果」とよばれるものである。パーティーのように大勢の人がいて、お酒も手 (ii)に決

ぜ友達の声を瞬時に聞き分けていたのだろうか。

何が重要な情報かというのは、当然ひとりひとり異なるだろうが、 **y** 人間の認知システムが

生物的にそのように作られていると言ってもよいかもしれない。【 IV

③\_\_\_\_\_\_\_ いは顔に似たものを好むこともわかっている。とくに、目を好んで見る赤ちゃんが多いという。 くように作られているようである。世界のどこでも、母親のマザリーズの特徴は決まっているようだ。また赤ちゃんは、顔ある ときだけに使われるこの特徴的な話し方は、マザリーズとよばれることもある。どうやら赤ちゃんの耳はマザリーズを好んで聞 向けて話をするときは、大人に向けて話をするときよりも声のトーンをあげ、おおげさな話し方になる。赤ちゃんに向けて話す たとえば赤ちゃんは、母親の話しかける声には反応するが、父親の声にはあまり反応しない。たいていの母親は、

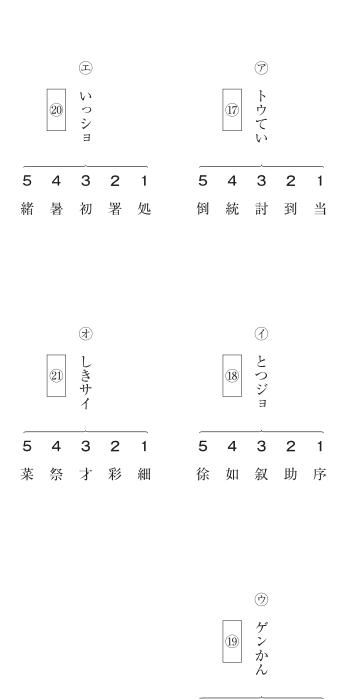
る。このような色は、世界中で信号にも使われている。黄色は、遠くからでもよく見える色でもある。【 しきサイにも私たちの注意をいつのまにか引いているものがある。真っ赤や、 強い黄色はどんな環境においても目立つ色であ V

注

聖徳太子……厩戸王。

飛鳥時代の政治家。思想家。

(松井智子『子どものうそ、大人の皮肉』より)



5

玄

4

元

3

現

1

弦

2

源

問 2 二重傍線部®・®はそれぞれ本文中でどのような意味で用いられているか。最も適当なものを、次の各群の1~5のうち から、それぞれ一つずつ選びなさい。

問 3 (a) 逸話 22 3 2 5 4 1 昔から語り継がれてきた話 ばかばかしい作り話 大げさに褒めたたえる話 誰でも知っている話 人物の隠れた面をよく表す話 **b** 矛先 23 5 3 2 4 1 判断 有無 方法 強弱 方向

空欄① 空欄①・⑪に入れるのに最も適当なものを、次の各群の1~5のうちから、それぞれ一つずつ選びなさい。 24) 3 2 1 しかも つまり たとえば あるいは 空欄前 25) 1 3 2 意識的 常識的 本能的 客観的

5

しかし

5

義務的

4

4

次の1~5のうちから一つ選びなさい。

26

1 人間は簡単な相談であれば聖徳太子のように多くの人の話を同時に聞いて、的確なアドバイスをすることができるが、

難しい相談では情報量が人間の処理できる容量を超えてしまうため適切に対応することができなくなってしまう。

2 一人の話に注意を向けると他の人の話を聞くことができなくなってしまうことからもわかるように、人間の認知シス

テムでは同時に複数の人の話を聞くことはできないため、聖徳太子の逸話も事実ではないと考えられる。

人間が情報処理にかけられる労力には限りがあるため、聖徳太子のように同時に10人もの話を聞いて理解し、

イスをすることはできないが、数人程度であれば誰でも訓練さえすればそうしたことができるようになる。

聖徳太子のように一度に10人の話を聞いて理解することは一般的には不可能だと考えられているが、情報を処理する

能力には個人差があるため、そうしたことが絶対に不可能だと言い切ることはできない。

5

4

3

他人の話を聞いて理解するためには短期記憶や作動記憶の働きが不可欠だと考えられているが、そうした認知システ

ムの処理資源は有限であるため、ふつうの人間が聖徳太子のようなことをするのは不可能である。

アドバ

るが、そうしたことができるという人に対する筆者の考え方として最も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びな

さい。 27

1 テレビを見ながら同時に他のことを行うなどといったことは一般的に男性よりも女性のほうが得意であるが、そうし

2 たことが得意なのは男性に比べて女性は生まれつき多くの処理資源を持っているからだ。 一般的な人がいくつものことを同時に行うのは難しいが、そうしたことができるという人は注意の切り替えが非常に

うまく、いくつものことを短時間のうちに進めることができるのではないか。

3 テレビを見ながら同時に他のこともできるという人は一般的な人よりも多くの処理資源を持っているのではなく、子 どもの頃から訓練を重ねることで限られた処理資源をうまく使い分けることができるようになった。

4 いくつものことを同時に行うことはふつうの人間には不可能であるが、そうしたことができるという人は聖徳太子と

同じようにふつうの人よりも高い情報処理能力を持った特別な人なのではないか。

5 テレビを見たり電話や料理をしたりするということは相談者の話を聞いて解決策を与えるなどいったこととは違って 日常的に行っていることであるため、処理資源を使わなくても自動的にできる。

- そのため普通はひとつのことに集中すると他の情報は聞きとれない
- 2 そのため複雑な問題はひとつだけではなく同時にまとめて処理する
- 3 そのため処理資源の量を一時的に増やして問題を解決しようとする
- そのためほとんどの人は聞きとったことをすぐにすべて忘れてしまう
- そのため集中力を高めればいくつも情報を同時に聞きとることができる

5

4

の友達の声が私に聞こえなかったのはなぜか。その理由として最も適当なものを、次の1~5のうちから一つ選びなさい。

- 1 私の息子は友達の声をよく知っていたため「カクテルパーティー効果」でそれを聞きとることができたが、私は息子
- の友達の声をよく知らなかったから。
- 2 実際は私も息子の友達の声をしっかりと聞いていたが、息子の友達に興味関心がなかったため、それを聞き流してす ぐに忘れてしまっていたから。
- 3 友達の声は私の息子にとっては赤ちゃんにとっての母親の声と同じように重要な情報であったが、私にとってはそう
- 4 音にはマザリーズのように特定の年代にしか聞こえないものがあり、私の息子が聞いた声は子どもにしか聞こえない

性質の音だったから。

した情報ではなかったから。

のは息子しかいなかったから。

5 友達が口にしたのは私の息子の名前だったため、「カクテルパーティー効果」によってその声に気づくことができた

そうした情報の中には、人間として必ず身につけておかなければならないものもある

2 すべての人間が共通に意識せずに、ほぼ反射的に注意を向ける傾向がある情報もある

3 ほとんどすべての人間が重要だと考え、常に意識的に注意を向けている情報も少なくない

4 日常生活を営むのに不可欠な情報として、すべての人間が共通に持っている情報もある

5 多くの人々が不要だとして注意を向けない情報の中にも、重要な働きをするものがある

それが安全にもつながることから、 幼稚園児のカバンや帽子には黄色が選ばれていると言われている。

5

V

4

IV

3

 $\coprod$ 

2

 $\prod$ 

1

Ι

問 9

本文には次の一文が抜けている。その入る位置として最も適当なものを、後の1~5のうちから一つ選びなさい。

31)

-21-

- 1 料理をしたりすることができるようになる。 自分が持っている処理資源を意識的に増やすことによって、聖徳太子のように他人の話を聞いたりテレビを見ながら 人間は一度に何人もの話を聞いて理解したり同時にいくつものことをしたりすることはできないと考えられているが
- 2 一つのことに集中すると周りで起こっていることに意識が向かなくなってしまう人間は、重要な情報を見落としたり を向け、そうしたことが起こらないようにしている。 聞き逃したりしてしまうことがないように無意識のうちに認知システムを働かせて自分の周りのあらゆる情報に注意
- 3 情報を処理するための資源は無限ではなく、その容量を超えてしまうと情報をうまく処理することができなくなって しまう人間は、「カクテルパーティー効果」やマザリーズなどのように、さまざまな情報の中から自分にとって重要 な情報を優先して処理するといったことを行っている。 -22-
- 4 れが本当に重要かどうかを慎重に判断することが大切である。 には自分にとって重要なものとそうでないものがあるため、注意を向けた情報をそのまま受け入れるのではなく、そ 人間は自分の周囲にあるさまざまな情報に対して意識的あるいは無意識的に注意を向けているが、そうした情報の中
- 5 印象づけたりしたいときには、 人間の認知システムは目立つものに注意を向けるようになっているため、大勢の人に話を聞いてもらったり、自分を などの目立つ色の服装をしたりするのが効果的である。 マザリーズのように声のトーンをあげて大げさな話し方をしたり、真っ赤や強い黄色

## 2022年度 一般入試 <前期 > 解答 2月2日実施分

国語	
解答番号	解答
1	5
① ② ③ ④ ⑤	3
3	1
4	1
5	4
6	2
(7)	5
8	4
9	2
8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 21 22 25 26 27 28	5 3 1 1 4 2 5 4 2 4 5 2 1 5 4 2 2 4 5 5 2 1 5 4 2 2 4 5 5 1 3 2 5 5 1 3 2 5 5 1 3 2 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5
11)	5
12	2
13	1
14)	5
15)	4
16	2
17)	2
18	4
19	5
20	5
21)	2
22	5
23	1
24)	3
25)	2
26	5
27	2
28	1
29	3
<u>30</u> 31)	2
31)	5
32	3